

がん患者の社会復帰支援 ～がんになっても働き続けるために～

医療の発展に伴い、近年がん患者とその家族の就労などの社会復帰支援が課題となっています。今年度は、就労支援に関する講演と、社会復帰支援に関わる各職種の実践報告を企画し、参加者の皆さまと一緒に考えたいと思います。多くの皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

第Ⅰ部 13:05～14:05

◆ 特別講演

「がん治療と仕事の両立

～患者・医療者・企業が明日からできる実践を学ぼう～」

講師 高橋 都先生

国立がん研究センターがん対策情報センター
がんサバイバーシップ支援研究部長

プロフィール

1984年岩手医大卒。内科臨床に10年間従事後、東京大学大学院で博士(保健学)取得。東京大学、独協医大教員を経て2013年より現職。一貫してがん診断後の社会生活に関する研究に取り組み、特に就労問題やカップル関係の研究が多い。



第Ⅱ部 14:15～15:00

- ◆ 実践報告 1 ワールド健康保険組合 保健師 雑賀 佳代子先生
- ◆ 実践報告 2 伊藤貴志社会保険労務士事務所 社会保険労務士 伊藤 貴志先生
- ◆ 実践報告 3 神戸大学医学部附属病院 医師 清田 尚臣先生

第Ⅲ部 15:15～15:45

- ◆ ディスカッション

◆開催日時:平成28年1月24日(日) 13:00～16:00 (開場12:30)

◆開催場所:神戸大学医学部 シスメックスホール

神戸市中央区楠町7丁目5-2

◆対象者:医療機関と行政機関の医療者・事務職員、
社会保険労務士、企業の人事労務担当者・産業保健スタッフ



神戸大学医学部附属病院 シスメックスホールまでのアクセス

プログラム

- ◆ 開会挨拶
神戸大学医学部附属病院副院長兼看護部長 松浦 正子

第Ⅰ部 13:05~14:05

座長 神戸大学医学部附属病院 藤原 由佳

- ◆ 特別講演「がん治療と仕事の両立
～患者・医療者・企業が明日からできる実践を学ぼう～」
講師 高橋 都先生
国立がん研究センターがん対策情報センター
がんサバイバーシップ支援研究部長

—休憩—

第Ⅱ部 14:15~15:00

座長 神戸大学医学部附属病院 薬師神 公和 土井 久容

- ◆ 実践報告 1
ワールド健康保険組合 保健師 雑賀 佳代子先生
- ◆ 実践報告 2
伊藤貴志社会保険労務士事務所 社会保険労務士 伊藤 貴志先生
- ◆ 実践報告 3
神戸大学医学部附属病院 医師 清田 尚臣先生

第Ⅲ部 15:15~15:45

- ◆ ディスカッション



電車利用

JR「神戸」駅下車 徒歩約15分
神戸高速鉄道「高速神戸」駅下車
徒歩約15分
神戸市営地下鉄「大倉山」駅下車
徒歩約5分

バス利用

JR神戸駅より神戸市バス9系統、
110系統もしくは112系統に乗車
約5分「大学病院前」バス停下車

対象者: 医療機関と行政機関の医療者・事務職員、社会保険労務士、
企業の人事労務担当者・産業保健スタッフ
300名(先着順) 参加費:無料

申込方法: 氏名・所属・職種・連絡先・メールアドレスをご記入の上、
件名を「社会復帰支援参加希望」と明記してメールにてお申し込みください。

E-mail: soukikak-cancer@med.kobe-u.ac.jp

申込期限: 平成28年1月8日(金)まで
(先着300名にて締め切らせていただきます)

【お問い合わせ先】神戸大学医学部附属病院 がん相談室
担当:岸野、伊藤
電話番号:078-382-5830(直通)